



(横浜市元気づくりステーション日吉第7コーポ)

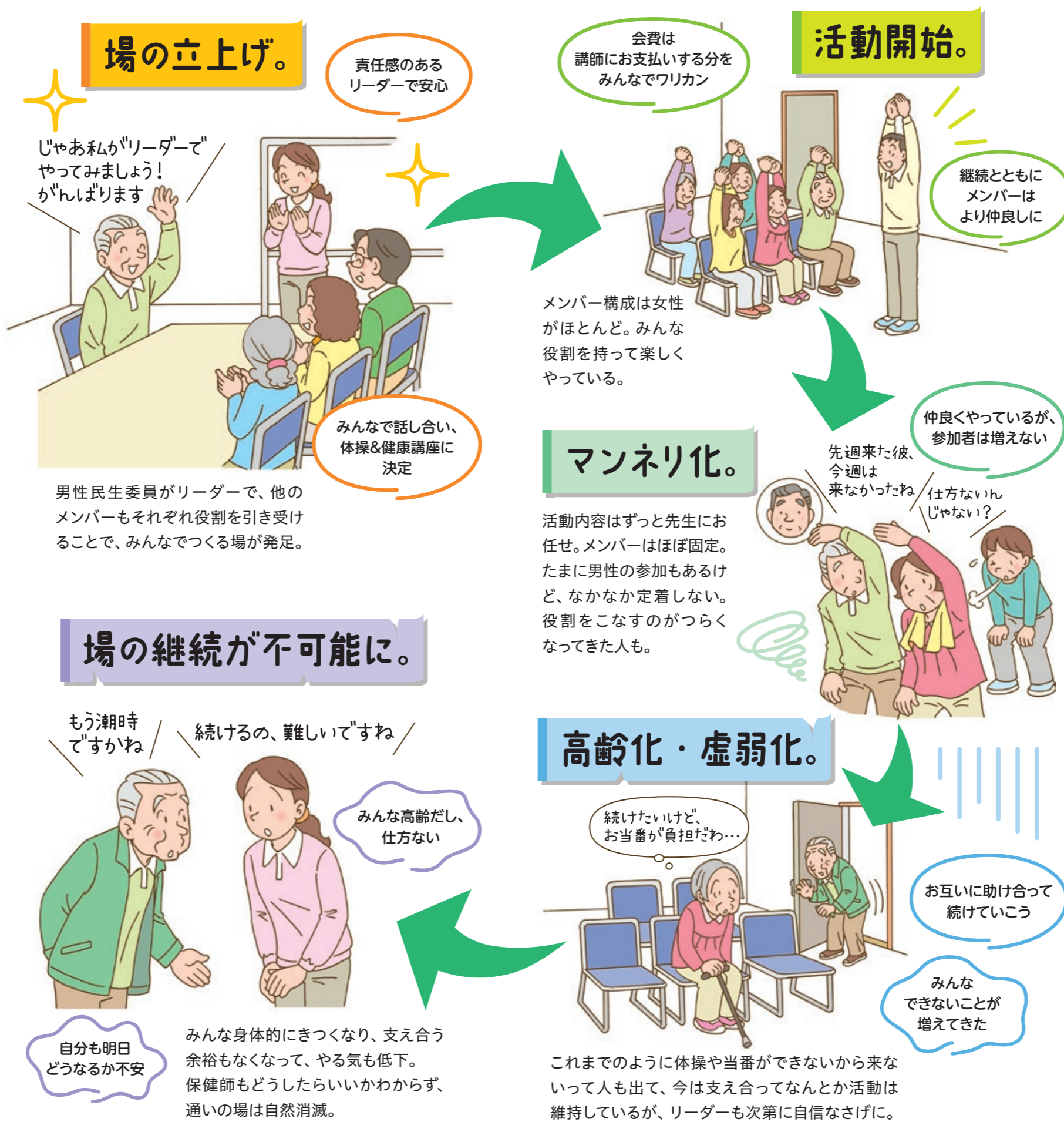
イスの上にラジカセをのせ、ラジオ体操の曲を流して、1人で始めた体操の時間。誘ったわけではないのに、自然と団地の人が加わって、これで顔見知りになるのが、今はみんな嬉しいとか。

「通いの場」だってみんな違ってみんないい!

通いの場は、「身近な地域で」「住民主体で」「誰でも参加でき」「みんなが元気になる」ような場にすることが求められています。その場には、一定の決まりやルールはありません。「みんな違ってみんないい」んです。

ほんの数人だって、来ている人が楽しくて、みんなで続けられれば成功です!

同じような問題を同じように悩んでいませんか？



場の継続とともに見えてくる 3つの課題

高齡化

- 自身の高齡化・虚弱化や家族の介護などにより場に行けなくなる
- 身体機能、認知機能の低下により、いままでできていたことができなくなる

など

少人数化

- 参加者がなかなか増えない
- メンバーの固定化と、高齡化・虚弱化によるメンバーの減少

など

メンバーや役割の偏り化

- 女性の比率が高く、男性が少ない、定着しない
- 役割分担が同じ人に固定され負担になる

など